

決算特別委員会 【10月31日・11月2日】

平成23年度 一般会計・特別会計の歳出決算総額は

28億8,337万円

(平成22年度比 一般会計 21.9%減 特別会計 10.4%増)

*一般会計の減少した要因：22年度において地デジ工事費、山菜加工場損失補償金などの支出があったため。

質疑 (11月2日)

【一般会計】

問 23年度から未立木地(木の生えてない山)の解消に向け事業がスタートしたが、その面積はどのくらいですか。

答 全体で天然林伐採跡地37ヘクタール、人工林伐採跡地8・15ヘクタールです。

問 中央スキー場に向かって右側の斜面で、山肌が出ていることを、住民の皆さんも気に掛かっています。植林の計画はどうなっていますか。

答 再来年までに植林が終わると聞いています。現在はネクスコの所有なので、引き続き要請していきます。

問 富良野・美瑛広域観光推進協議会負担金の内訳は。

答 富良野市350万円、美瑛町210万円、他町村(上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村)は140万円です。

問 人口比から考えると占冠村の140万円の負担は大きいのでは。

答 村にはトマムリゾートがあ

り、海外向けのキャンペーンなど負担金以上の効果があると考えています。

問 アートキャンプ2011事業は、現代アートが中心ですが、地域に根付かせるよう取り組む考えがありますか。

答 交流人口の増加に伴う経済効果と、観光振興できるように観光協会と協議し、村民への情報提供を進めていきます。

問 23年度の有害駆除の捕獲頭数は熊17頭、鹿451頭でしたが、地域では農業被害、林業被害は減っていないとも聞いていますので、予算を増額できませんか。

答 出没数は各年で変動があるので、予算は数年の平均数を計上していきます。

問 歳入の未収額が対前年度より増えた理由は。

答 ザ・タワー、ザ・ヴィレッジアルファの固定資産税です。当時の購入者が倒産、破産された件数が増えているからです。

問 住宅使用料の未納者は、退去勧告を含め厳正に行い、滞納解消を図るよう十分検討してほ

しい。

答 住宅使用料は、全額納められない方には分納の方法を取っています。根本的に悪質な未納者には毅然とした態度で進めませんが、何が有効なのか検討していきます。

問 一般会計の決算不用額(5492万円)ですが、予算その

ものの過大見積りによるものか、事業の縮小や中止によるものか、どちらの理由ですか。

答 繰越金の当初予算は2千万円計上していましたが、最終的に各科目50万円以上ある場合、減額補正しているため不用額が出てきます。

平成23年度 各会計決算状況

会計別	歳入額	歳出額	差引金額	
一般会計	23億9,908万円	23億2,393万円	7,515万円	
特別会計	国民健康保険	1億3,348万円	1億2,456万円	891万円
	村立診療所	9,202万円	8,808万円	393万円
	簡易水道	1億2,493万円	1億2,162万円	331万円
	公共下水道	9,392万円	9,016万円	376万円
	介護保険	9,708万円	9,437万円	270万円
	後期高齢者	1,553万円	1,525万円	27万円
	歯科診療所	2,656万円	2,535万円	121万円
合計	29億8,264万円	28億8,337万円	9,927万円	

※各会計の金額は、万円未満切り捨てですので、合計と一致しません。

【平成24年12月13～14日】

第5回定例会

●森林管理道(アリサラップ支線)事業に5億円

辺地総合整備計画を策定し平成25年度からおおむね7年間で路網整備

この事業は、北海道が事業主体になり、道補助(特定財源)を除いた1億2,500万円が村の負担となります。(下記の表、参照)

施設名(道路 6.3km)	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の予定額
		特定財源	一般財源	
森林管理道アリサラップ支線整備	5億円	5億7,500万円	1億2,500万円	1億2,500万円



平成24年第5回議会定例会は、12月13・14日の2日間、開催され、条例等3件・補正予算などの審議が行われ、原案どおり可決しました。また一般質問では6議員が、活発な論議を交わしました。(傍聴13日38人 14日0人)

辺地総合整備計画を策定

森林管理道アリサラップ支線整備にあたり、財政上有利な辺地対策事業債(*)を借入れるため、辺地総合整備計画を策定するものです。

*辺地対策事業債
充当率100%、元利償還金の80%が交付税で算入される。

問 アリサラップ林道を新設する必要は。また、民有林内の補償はあるのか。

答 村有林の施業にあたり、アリサラップ林道の整備をすれば伐採木などの搬出が効率的になります。民有地については所有者の承諾(無償)を受けています。

過疎地域自立促進 市町村計画の一部変更

交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流を図るために「北海道総合行政ネットワーク整備事業」を過疎地域自立促進計画に追加するものです。

水道設置条例の 一部改正

簡易水道給水区域(占冠・中央・中トママ・上トママ・双珠別)を統合し、事業を進めるために、条例の修正を行うものです。

補正予算

一般会計補正予算は、国保会

計への繰出金が主で、4特別会計補正予算と合わせて、全会一致で可決しました。

質疑

【一般会計】

問 除雪車の修繕料150万円を計上しているが、安全基準に基づいた点検と委託業務内容の指導を行っているのか。

答 除雪車の使用年数が長いこともあり修理費が掛かります。直営部分を昨年から全面委託しているが、契約時に安全点検の履行と運行上における工作物の損傷などに注意するよう指示しています。

問 職員研修委託料19万円の研修内容は。

答 全職員に対して接遇研修を行うための講師費用です。

【国保会計】

問 前期高齢者交付金3200万円を減額した理由は。

答 当初予算で前年度と同額(3200万円)を計上したことが、全額減額した要因となりました。

今後予算の見積りにあたっては十分精査し、実態に近い予算計上に努めてまいります。

村長の行政報告

平成24年度 補正予算 ～ 第5回定例会 ～

一般会計 (第5号)	400万円増
総額25億5,690万円⇒25億6,090万円	
・衆議院議員選挙費	400万円増
一般会計 (第6号)	750万円増
総額25億6,090万円⇒25億6,840万円	
・国保会計繰出金	1,780万円増
・介護保険会計繰出金	180万円増
・保育団地間伐工事	300万円増
・自立支援医療費	240万円増
・富良野広域連合負担金他	651万円増
・職員費	805万円減
国民健康保険 (第2号)	400万円増
総額1億2,750万円⇒1億3,150万円	
・後期高齢者支援金増など	
村立診療所 (第2号)	290万円増
総額9,070万円⇒9,360万円	
・社会保険診療報酬返還金増など	
公共下水道 (第2号)	10万円増
総額9,560万円⇒9,570万円	
・施設維持修繕など	
介護保険 (第2号)	330万円増
総額9,670万円⇒1億円	
・施設介護サービス等給付費増など	

①地域高規格道路の整備について

地域高規格道路旭川十勝道は占冠村～旭川市を結ぶ一般国道です。

現在、整備区間として富良野市～中富良野町で工事が進んでいます。占冠村～富良野市は計画路線であり、調査区間指定に向け、国・道に要望しています。

このほど、富良野市、南富良

野町、占冠村の首長と正副議長で意見交換を行い、国道237号の現道を利用した地域高規格道路として、来年以降に要望します。

山口契診療所長との雇用契約を1年間（平成26年3月末まで）延長することで合意しました。

山口契診療所長との雇用契約を1年間（平成26年3月末まで）延長することで合意しました。

山口契診療所長との雇用契約を1年間（平成26年3月末まで）延長することで合意しました。

山口契診療所長との雇用契約を1年間（平成26年3月末まで）延長することで合意しました。

③道の駅敷地内の私有地について

道の駅敷地内の私有地は、地権者のご好意により、無償で花壇として使用していましたが、11月1日付けで「土地賃貸借契約」を結びました。

今後土地購入に向けて、話し合いを続けていきます。

④村プレミアム商品券について

制度上の問題点があるとして事業を再検討していましたが、事業主体の商工会において改善策がまとまり実施することになりました。



りました。利用期間は12月17日から2月17日までです。これからも、より良い制度になるよう商工会と連携していきます。

⑤東日本大震災被災地の視察について

10月下旬に、被災状況や復興状況と避難者のコミュニティの状況等を見聞する目的で、被災地の行政視察を行いました。仮設住宅のコミュニティは、1年半が経過し不満やストレスが蓄積している状態で、引きこもって出たがらない人や働く意欲をなくしている人が増え、コミュニティの維持が難しいと話していました。

駆け足で回ってきましたが、復興がようやく始まった地域、始まっていない地域があり、震災の爪痕の大きさ、人々の心のケアの難しさを強く感じました。

意見書を提出

村民の声を
国政の場に

○生活保護基準の引き下げをしないことの意見書

厚生労働省は、社会保障審議会生活保護基準部会を開いて、年内にも生活保護基準の引き下げを決めようとしています。引き下げは、生活保護者のくらしを大変にし、最低賃金や年金、就学援助などに大きな影響を与えることから、生活保護基準の引き下げはしないことなどを要望しました。